

HARMAN

TUNE500BT

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止 (してはいけないこと) を示す記号です。

水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

分解 してはいけないことを示す記号です。

指示 に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示す記号です。

濡れた手 で扱ってはいけないことを示す記号です。

AC 電源アダプタ をコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

触 れてはいけないことを示す記号です。

警告

煙 が出る場合、異常なおいや音が出る場合は、すぐに電源を切る。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。

水道 の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。

本機 の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

アルコール・シンナー などの引火性溶剤の近くで使用しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

分解 や改造をしない。感電の原因になります。

調理台 や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所で使用しない。火災・感電の原因になることがあります。

交通安全 のために自転車やバイク、自動車の運転中にヘッドホンを使用しない。周囲の音が聞こえにくくなるため、交通事故の原因となります。

歩行中、交差点や踏切、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない。交通事故の原因となります。

注意

ほこり や湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。

薬物厳禁 ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

電池についてのご注意

- **電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。**漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入りたり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
 - 液が漏れたとき→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
 - 液が目に入ったとき→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
 - 液が体や衣服についたとき→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

- **電池について以下のことに注意する。**本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
 - 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
 - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
 - 電子レンジや高压容器に入れないでください。
 - 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
 - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
 - 所定の時間を超過しても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
 - 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなる場合があります。

- 2.4GHzを利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全ての Bluetooth 機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがしたり表示を消すこと。

周波数について

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FHSS (周波数拡散方式) を採用し、想定される干渉距離は約 10m です。

2.4 FH 1

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) 及び特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) 並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等 (例えば、パーティションの設置など) についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

充電用ケーブル

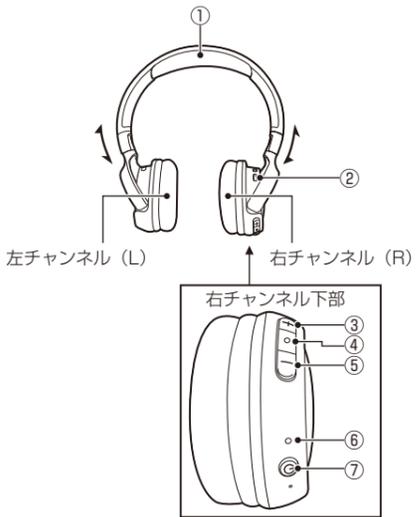


日本語取扱説明書 (本紙)

多言語取扱説明書

保証書 (日本国内用)

各部の名称



① ヘッドバンド
長さを調整して装着してください。

② USB コネクタ (右チャンネル上部)

③ 音量+ボタン

④ マルチファンクションボタン (▶||/◀)

⑤ 音量-ボタン

⑥ 電源 / Bluetooth インジケータ

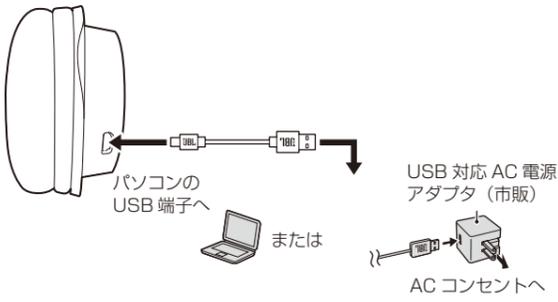
⑦ 電源ボタン (⏻)

充電する

付属の充電用ケーブルを使って充電します。充電時間は約 2 時間*です。

* 充電電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

- ① 本機に充電用ケーブルを接続する。
本機右チャンネル上部の USB コネクタに付属の充電用ケーブルを接続します。
- ② 充電用ケーブルを、お手持ちのパソコンの USB 端子に接続する。
または、市販の USB 対応 AC 電源アダプタを使用して、コンセントまたはお手持ちのパソコンの USB 端子に接続します。
AC 電源アダプタは、5V 1A 以下の市販品をお使いください。



充電中は電源 / Bluetooth インジケータが赤く点灯し、充電が完了するとインジケータが消灯します。

急速充電について

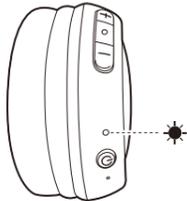
本機の急速充電機能により、5 分充電するだけで最大 1 時間の使用が可能です。

充電が完了したら充電用ケーブルを外してください。

電池残量について

電池残量が少なくなると電源 / Bluetooth インジケータが赤く点滅します。

インジケータが赤く点滅したら、充電してください。



Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生やハンズフリー通話を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ① 電源ボタン () を 2 秒以上長押しして、本機の電源を入れる。電源を入れると、電源 / Bluetooth インジケータが青く点滅し、ペアリングモードになります。



- ② デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。ペアリングが完了すると、電源 / Bluetooth インジケータが青く点灯します。
- ③ 本機の右チャンネルと左チャンネルを確認して装着する。本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

iPhone/iPod/iPad の場合：

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。

- ② デバイスから「JBL TUNE500BT」を選択する。接続が完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。



携帯電話・スマートホンでハンズフリー接続を行う場合：

- ① 携帯電話・スマートホンでペアリング操作を行い、登録 / 接続する。(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)ハンズフリー通話をしたい場合は「ハンズフリー (HFP)」または「ヘッドセット (HSP)」、音楽再生のみ行いたい場合は「ワイヤレスステレオ (A2DP)」で接続してください。機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートホンの取扱説明書も合わせてご覧ください。

その他のデバイス (携帯電話・スマートホンなど) の場合：

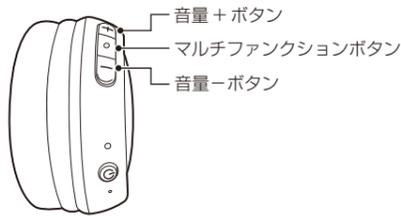
- ① ペアリング設定状態にする。接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。ペアリングが完了すると、電源 / Bluetooth インジケータが青く点灯します。

ご注意

- Bluetooth は約 10m までの距離で接続できますが、障害物 (人体、金属、壁など) や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- 以下の場合、Bluetooth 接続に障害を起こす場合があります。このような場合、再生や通話が途切れることがあります。使用環境を変えてご使用ください。
 - 無線 LAN が構築されている場所、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など

▶ 基本操作

右チャンネルの音量 + / - ボタンとマルチファンクションボタンで以下のコントロールを行うことができます。



音量ボタン (+ / -)

押しして音量を調節します。

音量 + ボタンを 2 秒以上押し続けると、次の曲にスキップします。音量 - ボタンを 2 秒以上押し続けると、演奏中の曲の先頭に戻ります。曲の先頭で押し続けると前の曲にバックスキップします。

マルチファンクションボタン ()

押すごとに再生 / 一時停止します。

マルチファンクションボタン ()

携帯電話・スマートホンで Bluetooth でハンズフリー接続しているときは、ハンズフリーボタンになります。

着信中に 1 回押すと電話を受けます。約 2 秒以上押し続けると着信拒否します。

通話中に 1 回押すと電話を切ります。

通話中に別の着信があったときに 1 回押すと現在通話している電話を切り、新しく着信した電話を受けます。

▶ Bluetooth 接続を解除する

デバイス側で Bluetooth を「OFF」にし、接続を解除します。

▶ 本機の電源をオフにする

電源ボタン () を 2 秒以上長押しします。

電源 / Bluetooth インジケータが白で点滅し、本機がオフになります。

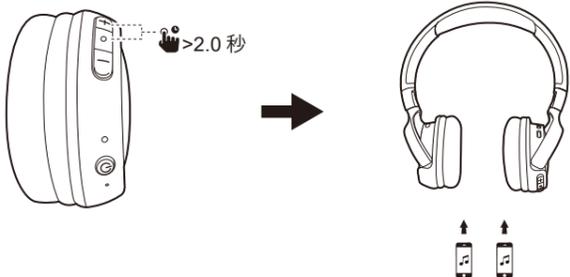
次に電源をオンにしたときは、電源 / Bluetooth インジケータが白で点灯します。さらに、Bluetooth 対応デバイスと自動で接続すると青で点灯します。

▶ マルチポイント機能で 2 台目のスマートホン・携帯電話をペアリングする

本機は Bluetooth マルチポイント機能により、スマートホン を 2 台同時に Bluetooth 接続し、待ち受け状態にしておくことができます。

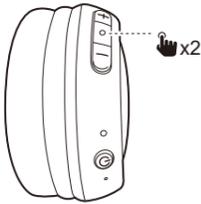
すでに 1 台のスマートホン・携帯電話が Bluetooth 接続している状態で 2 台目のスマートホン・携帯電話をペアリングしたい場合は、音量 + ボタンとマルチファンクションボタンを同時に 2 秒以上押し続けます。

その後、接続したいデバイスをペアリング設定状態にし、ペアリングを行ってください。



Siri / Google Now を起動する

iPhone・スマートホンで Bluetooth でハンズフリー接続しているときにマルチファンクションボタンを 2 回押します。



トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。 オーディオ機器の音量をご確認ください。 オーディオ機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりにすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

▶ イヤパッドを交換する

イヤパッドは消耗品です。日常の使用や長期の保存により劣化しますので、傷んできたときは交換してください。新品のイヤパッドを購入する場合は、弊社サービスセンターにお問い合わせください。

主な仕様

タイプ	密閉ダイナミック型 Bluetooth ワイヤレス (オンイヤ)
周波数特性	20Hz-20kHz
Bluetooth	バージョン : Bluetooth 4.1
伝送範囲	Class 2、通信距離約 10m (障害がない場合)
対応プロファイル	A2DP V1.2、AVRCP V1.5、HSP V1.2、HFP V1.6
電池	リチウムイオン電池 (充電式)
充電時間*	約 2 時間 (急速充電 : 約 5 分の充電で約 1 時間使用可能)
連続使用時間*	音楽再生 : 約 16 時間
重量	155g

* 電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。また充電・再生時間は使用環境により異なります。
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたらず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ 本機の廃棄について



Li-ion

本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://jp.jbl.com/support-product.html>

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間 : 土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2019 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.